

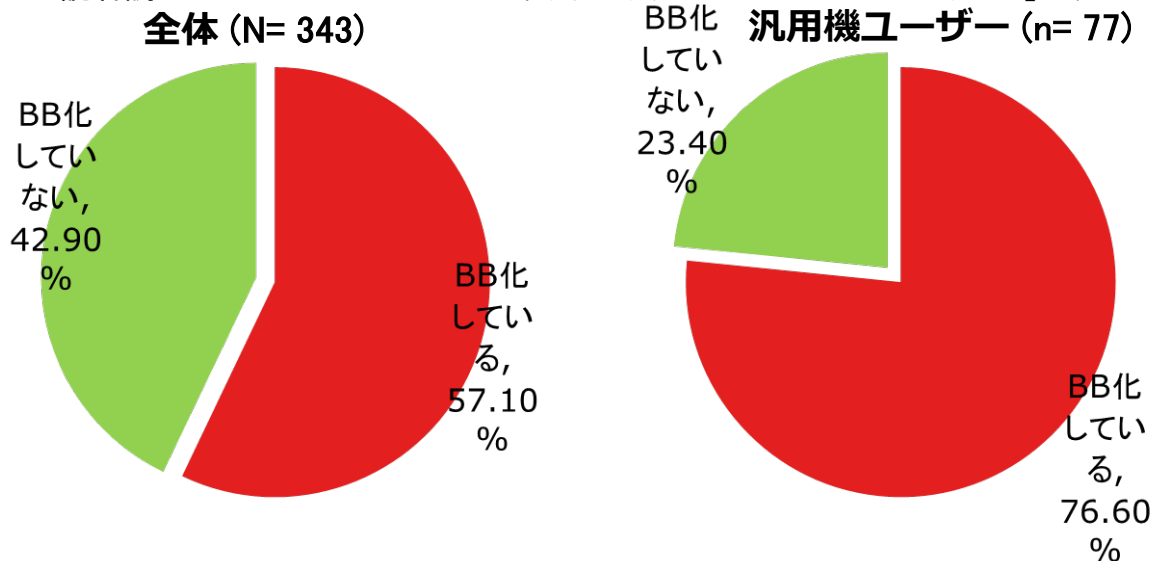
情報システムのブラックボックス化とその解消に

# レガシーシステム可視化

## 企業情報システムのブラックボックス化問題

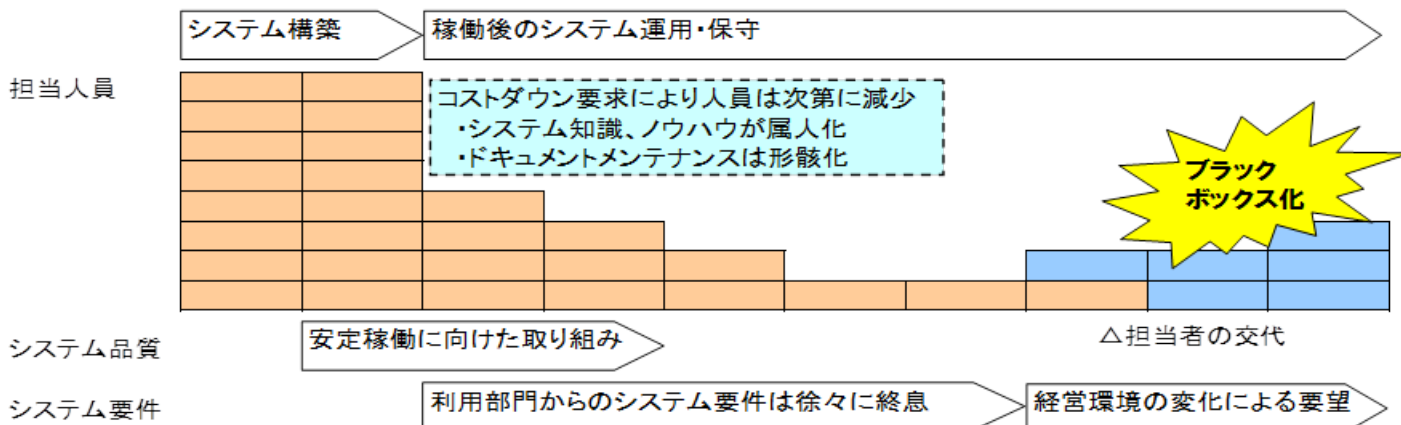
■ 情報システムのブラックボックス化は汎用機ユーザーにおいては特に深刻だが汎用機固有の問題というわけではない。

◆ 出典: @IT読者調査レポート「ITシステムのブラックボックス化についてのアンケート」より



## 情報システム ブラックボックス化の原因とプロセス(※:システムズの見解)

- システム構築～安定稼働
  - ・開発に参画したメンバーを含め、システムに関わる人員が多い状態
- 安定稼働の維持(システムの安定期)
  - ・利用部門からの要件も少なく、最少人数で保守できる状態
  - ・経営からのコストダウン要求により、徐々に人員削減
  - ・システム知識、運用／保守ノウハウは特定のメンバーに集中
  - ・保守効率を維持する為、ドキュメントメンテナンス等は形骸化
- 担当者の交代(退職等)、経営環境の変化によるシステムの大規模改修
  - ・システム理解者が少ない(いない)状態 → **ブラックボックス化が表面化**

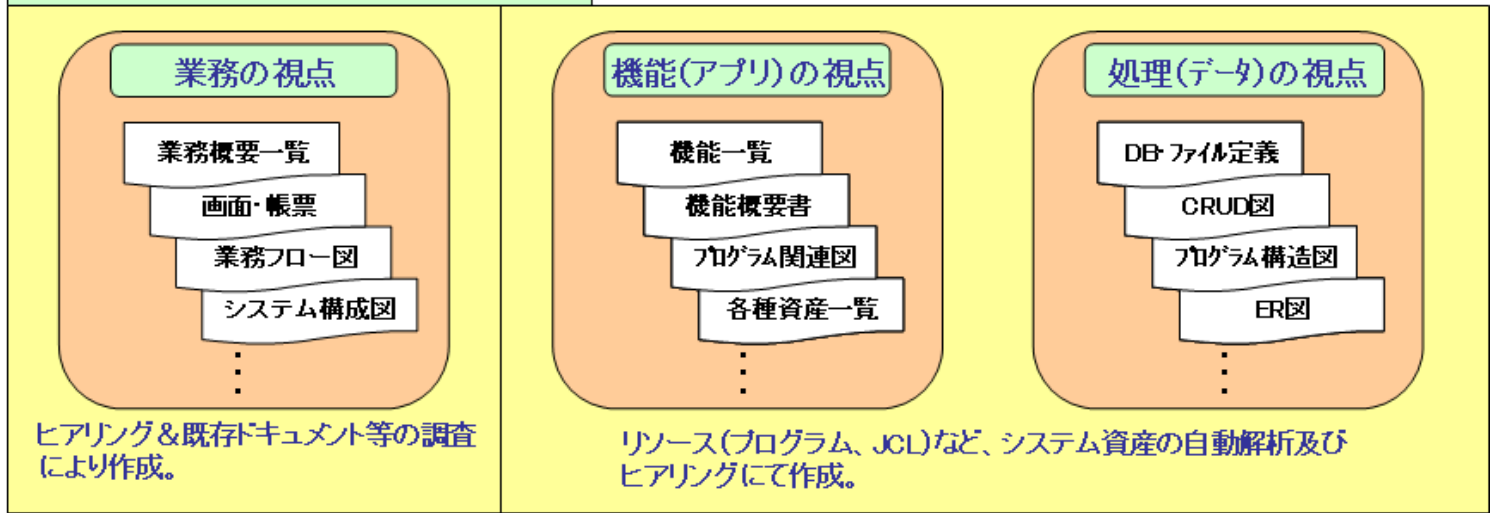


# システムズが提案するレガシーシステム可視化とは

## レガシーシステム可視化概要

- 現行システム資産(ドキュメント、ソースプログラム、データ構造)を、「業務」「機能(アプリケーション)」、「処理(データ)」の視点から解析し、システムの可視化を実行。

### 可視化(調査・分析、ドキュメント化)



### システム基盤統合/再構築の上流工程で有効活用

業務継続性の担保

開発コスト削減

保守・運用の効率化

## システムズが行うレガシーシステム可視化の特徴と作成ドキュメント例

### (1) 現状のシステム資産を解析し、ありのままをドキュメント化。

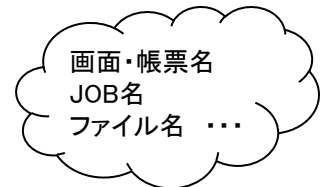
- ◆ 現状のドキュメントとソースプログラムが一致していても問題ありません
- ◆ 資産解析、ドキュメント作成を極力自動化し、整合を担保します
- ◆ 事前にソースプログラムに手を加える必要はありません

### (2) システム環境(メーカー/機種/言語)を選ばない。

- ◆ 各ベンダーのシステム環境に対応。(マイグレーション経験の活用)
- ◆ 作成するドキュメントは標準フォーマットに統一。

### (3) 業務、機能、データの視点でシステム全体を俯瞰可能。

- ◆ 業務、機能、データの関連付けをリポジトリ化します。
- ◆ 資プログラム仕様のドキュメント化(仕様書作成)ではありません。
- ◆ お客様の業務が、どの様な機能/データで構成されているかを解析。



### (1) 「ソフトウェア設計関連」資料

ヒアリングや既存ドキュメント等を調査し、設計情報の資料を作成します。

### (2) 「ソフトウェア保守用」資料

リソース解析やヒアリング等から、システムやプログラムの状況を把握する資料を作成。

### (3) 「ソフトウェア資産棚卸」資料

リソース解析から、現状システムの使用していない資産を明確にします。



[資料請求とお問い合わせ]

株式会社 **システムズ** マイグレーション事業本部

東京都品川区西五反田7-24-5 西五反田102ビル8F TEL 03-3493-0032 FAX 03-3493-2033  
URL <http://www.migration.jp/> E-mail: [migration@systems-inc.co.jp](mailto:migration@systems-inc.co.jp)

●本紙に掲載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。  
●本紙に掲載されている内容は、2013年10月現在のものです。また、内容は改善のため予告なく変更することがあります。